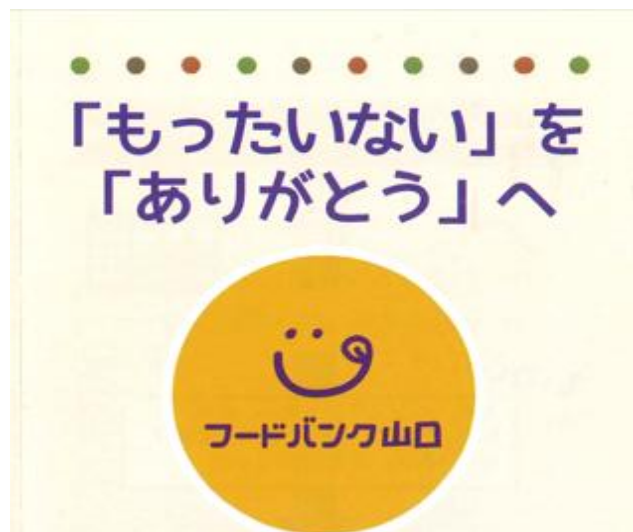


エコアクション21環境活動レポート



〔ひかりステーション（熊谷興業(株)）〕
〒743-0011 光市光井9丁目8-36
TEL : (0833)71-0798 FAX : (0833)72-7501
E-mail : info@kumagai-kogyo.co.jp

2024年度版

(2024年 4月 1日～2025年 3月 31日)

熊谷興業株式会社

発行日 2025年 5月 1日

ホームページアドレス:「<http://kumagai-kogyo.co.jp>」

目次

環境活動レポート エコアクション21

環境方針	3
1. 当社の概要	4～11
1) 名称及び代表者	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び担当者氏名並びにご連絡先	
4) 事業活動	
5) 事業の規模	
6) 許可の内容	
7) 運搬用車両・建設機械・使用機械	
8) 認証登録の解消範囲	
2. 組織図及び認証・登録範囲	12
3. 環境目標及び中期環境目標	13
4. 主要な環境活動計画とその内容	14
環境保全に向けた具体的な取組み	
1) 二酸化炭素の削減	
2) 木屑チップ化の推進	
3) 水使用量の削減	
4) グリーン購入の積極的推進	
5) ボランティア活動他	
6) ジモティと連携した実店舗運営によるゴミの排出量削減(ジモティスポット光店)	
5. 環境活動計画の結果とその評価及び次年度の取組内容	15
1) 二酸化炭素の削減	
2) 木くずチップ化の推進	
3) 水使用量の削減	
4) グリーン購入の積極的推進	
5) ボランティア活動他	
6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	15
7. 代表者による全体評価と見直し結果	16～17

環境方針

【基本理念】

当社は昭和29年創業以降、地元地域の環境の整備と緑化を二本の柱として事業を展開して参りました。時代の変化と共に変わり行くお客様のニーズや環境に対する配慮を行い、サービスの改良並びに発展を続けております。

緑豊かな自然と産業の発展を願って、今後も「クリーン＆グリーン」のスローガンに下、環境づくりに不断の努力を重ねてまいります。

【行動指針】

環境に配慮した全社運動を目指し、環境への負荷を少しでも減少するべく努力します。その為に、以下に挙げる事項を重点的に取り組み、これらを環境目標及び活動計画に定め、定期的な見直しを行い継続的な改善を推進します。

1. 二酸化炭素排出量の削減
収集運搬車両の使用エネルギー(ガソリン・軽油)の削減及び環境負荷の少ないものへ変更に努めます。
2. 廃棄物の環境負荷の削減
 - ・自社廃棄物埋立序文率の減少に努めます。
 - ・自社廃棄物のリサイクル率の向上に努めます。
3. 水使用量の削減
上水道の水使用量の削減に努めます。
4. グリーン購入を積極的に推進します。
5. 事業活動は法令順守で行います。
6. 地域や自治会の清掃活動・環境活動に積極的に参加します。
7. この環境方針を、社員全員に周知し、社外へも公表します。

平成28年4月1日
熊谷興業株式会社
代表取締役 熊谷 朝和

1. 当社の概要

1) 事業者名及び代表者

事業者名	熊谷興業株式会社
代表取締役	熊谷 朝和

2) 所在地

山口県光市光井九丁目8番36号

3) 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者	代表取締役	熊谷 朝和
環境管理担当者	総務課 課長	新田 一弘
連絡先	TEL	0833-71-0798
	FAX	0833-72-7501
	E:mal	kuima0798@wonder.ocn.ne.jp

4) 事業活動

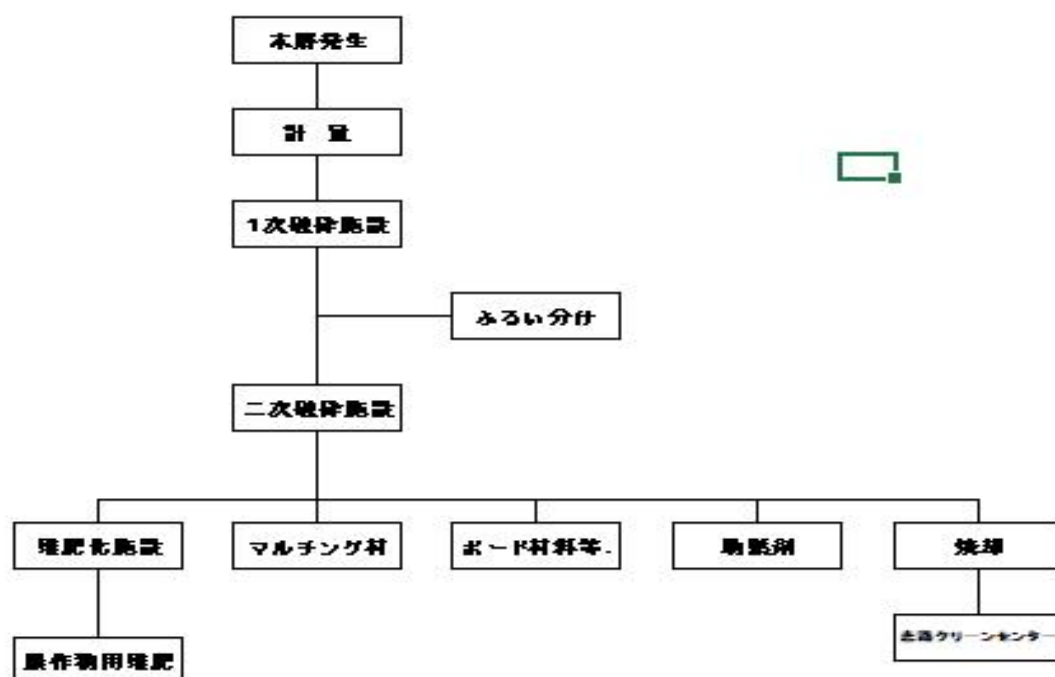
一般廃棄物収集運搬・処理業(中間処理)、産業廃棄物収集運搬・処理業(中間処理)、浄化槽
清掃保守点検業、排水設備設計施工業、下水道管清掃業、造園土木工事業、しゅんせつ工事業
一般区域貨物自動車運送業、道路清掃業、舗装工事業、解体工事業、水道設備工事業

5) 事業の規模

会社設立	昭和31年10月23日	年商	3.4億円
資本金	1,500万円	従業員	28名
一般廃棄物収集運搬量	702ton	作業車両台数	33台
産業廃棄物収集運搬量	2,203ton	床面積	449m ²
木くずチップ化	478ton	土場面積	2246m ²

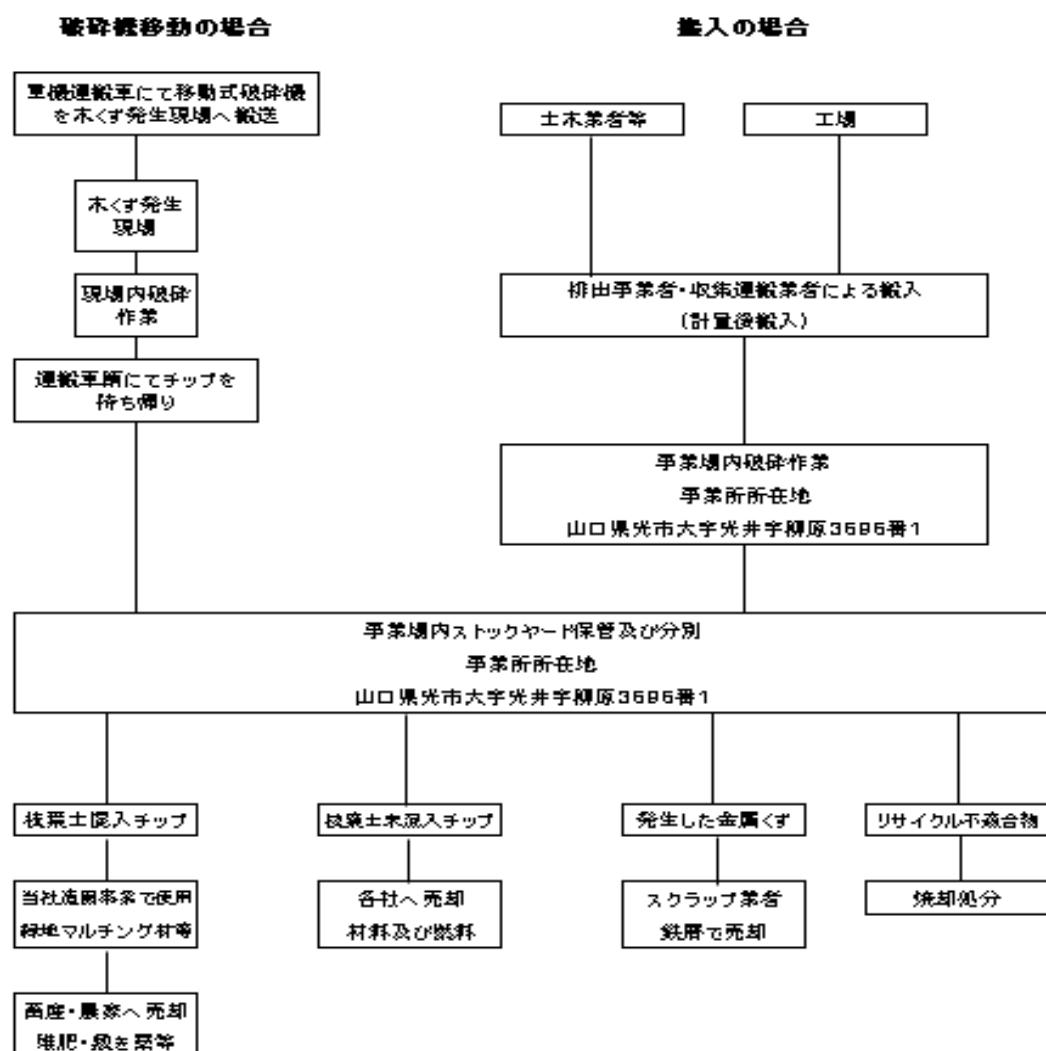
当社の事業年度：4月1日～3月31日

木くず(一般廃棄物)処理計画図



名 称	型式	処理能力	接地年月日
モロオカ自走式木材破砕機	MC-2000	4.32t/8H	H31.4.16
モロオカ自走式木材破砕機	MC-2000 (CS150)	4.53t/8H	R3.8.12

木くず(産業廃棄物)処理工程図



名 称	型式	処理能力	接地年月日
モロオカ自走式木材破砕機	MC-2000	4.32t/8H	H31.4.16
モロオカ自走式木材破砕機	MC-2000 (CS150)	4.53t/8H	R3.8.12

6) 許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業 (優良認定)

産業廃棄物収集運搬業		山口県 第03503004577号	
許可の年月日	令和4年9月21日	許可の有効年月日	令和11年8月24日
事業の範囲	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く、以上3種類)・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・紙屑・木くず・繊維くず・動植物性残渣・動物系固形不要物・ゴムくず・鋳さい・がれき類・動物のふん尿・動物の死体・ばいじん・13号廃棄物(これらは、石綿含有産業廃棄物であるものを含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く)以上20種類		
事業の区分	積替え又は保管を除く		

② 産業廃棄物収集運搬業 (優良認定)

産業廃棄物収集運搬業		広島県 第03400004577号	
許可の年月日	平成31年3月3日	許可の有効年月日	平成38年3月2日
事業の範囲	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙屑・木くず・繊維くず・動植物性残渣・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去によって生じたものを除く)・陶磁器くず・鋳さい・がれき類・ばいじん(これらのうち、廃プリント配線板、廃石膏ボード、廃棄物包装及び石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)以上17種類		
事業の区分	積替え又は保管を除く		

③ 産業廃棄物収集運搬業 (優良認定)

産業廃棄物収集運搬業		福岡県 第04000004577号	
許可の年月日	令和3年6月14日	許可の有効年月日	令和10年6月13日
事業の範囲	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず等・(以上3品目については、自動車等破砕物を除く)・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残渣・ゴムくず・鋳さい・がれき類・ばいじん(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物であるものを含む)以上16種類		
事業の区分	積替え又は保管を除く		

④特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定）

特別管理産業廃棄物収集運搬業		山口県 第03553004577号	
許可の年月日	令和4年9月11日	許可の有効年月日	令和11年8月24日
事業の範囲	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・鉱さい・ばいじん・13号廃棄物・感染性産業廃棄物・廃石綿等 以上10種類		
事業の区分	積替え又は保管を除く		

⑤特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定）

特別管理産業廃棄物収集運搬業		広島県 第03450004577号	
許可の年月日	平成31年3月3日	許可の有効年月日	平成38年3月2日
事業の範囲	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害廃棄物であるものを除く）・廃酸（水素イオン濃度指数20以下の物に限り、特定有害廃棄物であるものを除く）・廃アルカリ（水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害廃棄物であるものを除く）・廃石綿等 以上4種類		
事業の区分	積替え又は保管を除く		

⑥特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定）

特別管理産業廃棄物収集運搬業		福岡県 第04050004577号	
許可の年月日	令和3年6月14日	許可の有効年月日	令和10年6月13日
事業の範囲	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害廃棄物であるものを除く）・廃酸（水素イオン濃度指数20以下の物に限り、特定有害廃棄物であるものを除く）・廃アルカリ（水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害廃棄物であるものを除く） 以上4種類		
事業の区分	積替え又は保管を除く		

⑦一般産業廃棄物収集運搬業

一般廃棄物処理業		光市 光環事 第 341号	
許可の年月日	令和7年4月1日	許可の有効年月日	令和9年3月31日
事業の範囲	不燃ごみ及び可燃ごみ（生ごみ等）		
収集 運搬 処分の区分	収集 運搬		
収集 運搬 処分の方法	収集車による収集及び一般廃棄物処理施設への運搬		
機材の種類及び数量	塵芥車 5台、2tダンプ 2台、3tダンプ 1台、脱着装置付コンテナ専用車 1台、清掃車 4t車 1台、清掃車 10T車 3台		

⑧一般廃棄物処理業

一般廃棄物処理業		光市 光環事 第 336号	
許可の年月日	令和6年4月1日	許可の有効年月日	令和8年3月31日
事業の範囲	樹木剪定枝・伐採木・草等の処分(中間処理)		
事業の条件	上記廃棄物を処理施設において破砕、チップ化したものを堆肥、助燃剤、マルチング材等として活用		

⑨一般廃棄物処理業(周南市)

一般廃棄物処理業		周南市指令廃 第 211号	
許可の年月日	令和6年11月18日	許可の有効年月日	令和8年11月17日
事業の範囲	収集車による収集及び一般廃棄物処理施設への運搬		
事業の条件	日鉄ステンレス(株)山口製造所周南製造所及び同社の所有する社宅4カ所に限る。		

⑩産業廃棄物処分類

産業廃棄物処分類		山口県 第 03523004577号	
許可の年月日	令和 6年 10月 15日	許可の有効年月日	令和 11年 10月 14日
事業の範囲	中間処理(破砕(移動式))		
産業廃棄物の種類	破砕(移動式): 木くず 以上1種類 (これらは、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)		

⑪一般建設業

一般建設業		山口県(般一3) 第1691号	
許可の年月日	令和3年8月24日	許可の有効年月日	令和8年8月23日
工事の種類	土木工事業、とび・土工工事、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業、しゅんせつ工事業、造園工事業、		

⑫浄化槽保守点検業

浄化槽清掃業		浄保 - 6 第 8号	
許可の年月日	令和7年3月15日	許可の有効年月日	令和10年3月15日
特例浄化槽工事業者		H27監理 第 9号の 10	
届出番号	山口県知事(届-27)第109号	届出年月日	平成27年12月2日

⑬排水設備設計施工業

建築物排水管清掃業		山口県 22排 第14の6の1号	
許可の年月日	令和4年5月27日	許可の有効年月日	令和10年5月26日
建築物飲料水貯水槽清掃業		山口県 14貯 第2の5の1号	
許可の年月日	令和2年6月19日	許可の有効年月日	令和8年6月23日

7) 作業及び運搬用車両

No.	車種	車番	社名	自社登録年月日
使用燃料：軽油				
①	4Tバキューム車	山口 802 ね 1	日野	平成24年6月15日
②	クレーン付4Tトラック	山口 100 ふ 5	日野	平成13年10月31日
③	3Tダンプ	山口 400 え 7	日野	平成26年11月12日
④	塵芥車	山口 830 た 9	日野	平成29年11月20日
⑤	塵芥車	山口 800 に 10	日野	平成28年12月28日
⑥	塵芥車	山口 830 は 11	日野	令和1年10月28日
⑦	塵芥車	山口 830 セ 12	三菱	平成31年2月27日
⑧	塵芥車	山口 830 と 13	日野	令和1年8月28日
9	塵芥車	山口800 す 58-75	三菱	令和6年4月11日
10	キャブオーバー(台車)	山口 400 ち 35-75	トヨタ	令和2年5月18日
⑪	脱着装置付コンテナ専用車	山口 130 ち 14	三菱	令和3年4月20日
⑫	脱着装置付コンテナ専用車	山口 130 う 15	三菱	平成26年12月24日
⑬	10Tダンプトラック	山口 131 う 16	三菱	令和1年9月13日
⑭	10Tダンプトラック	山口 130 こ 17	三菱	平成31年4月25日
⑮	水密10Tダンプトラック	山口 130 こ 18	三菱	平成29年6月12日
16	キャブオーバー(台車)	山口 130 け 19	日野	令和1年10月31日
17	大型ダンパー車	山口 800 か 5-90	日野	平成13年11月14日
⑯	大型ダンパー車	山口 830 な 22	いすゞ	令和5年9月22日
⑰	大型ダンパー車	山口 830 う 23	日野	平成26年2月7日
⑱	大型ダンパー車	山口 830 い 24	日野	平成29年11月8日
⑳	中型ダンパー車	山口 830 き 25	いすゞ	令和7年3月21日
22	高圧洗浄車 ①	山口 800 さ 89-87	日野	平成18年9月29日
23	高圧洗浄車 ②	山口 830 と 27	いすゞ	令和7年2月12日
24	高圧洗浄車 ③	山口 800 す 15-32	日野	平成23年1月28日
25	スーパー	山口 800 は 21-86	いすゞ	令和2年7月3日
26	スーパー	山口 830 て 29	いすゞ	令和4年9月6日

※色付け欄は平成17年度排ガス規制対応車両

※No.の囲み数字はデジタコ装着車

7) 作業及び運搬用車両

No.	車種	車番	社名	自社登録年月日
使用燃料 : ガソリン				
27	軽バン	山口 484 ら 2	スズキ	令和5年5月31日
28	軽ダンプ	山口 485 ま 3	スズキ	令和2年4月14日
29	キャブオーバー(軽)	山口 480 リ 66-43	マツダ	令和2年4月16日
30	検査測定車	山口 883 う 6	スズキ	令和5年8月30日
31	軽バン	山口 480 つ 57-02	スズキ	令和2年9月18日
32	キャブオーバー(軽)	山口 485 そ 5	スズキ	令和4年6月15日
33	キャブオーバー(軽)	山口 480 リ 81-62	スズキ	令和5年5月31日

※色付け欄は平成17年度排ガス規制対応車両

7-2) 建設機械

No.	車種	車番	規格	自社登録年月日
使用燃料 : 軽油 建設機械				
30	バックホウ(0.45m³)	コマツ	PC128US-8	平成27年9月20日
31	バックホウ(0.16m³)	コマツ	PC78	令和5年3月
32	バックホウ(0.16m³)	コマツ	PC50MR-2	平成20年7月18日
33	バックホウ(0.09m³)	コマツ	PC30MR-5	令和4年
34	トラックローダー	タケウチ	TL140	平成29年4月30日
35	木材破砕機	大橋	CS150RT-F	平成21年11月30日
36	木材破砕機	モロオカ	MC-2000	令和3年
37	木材破砕機	モロオカ	MC-2000	平成27年7月27日
38	フォークリフト	ユニキャリア	FD40	平成28年6月28日

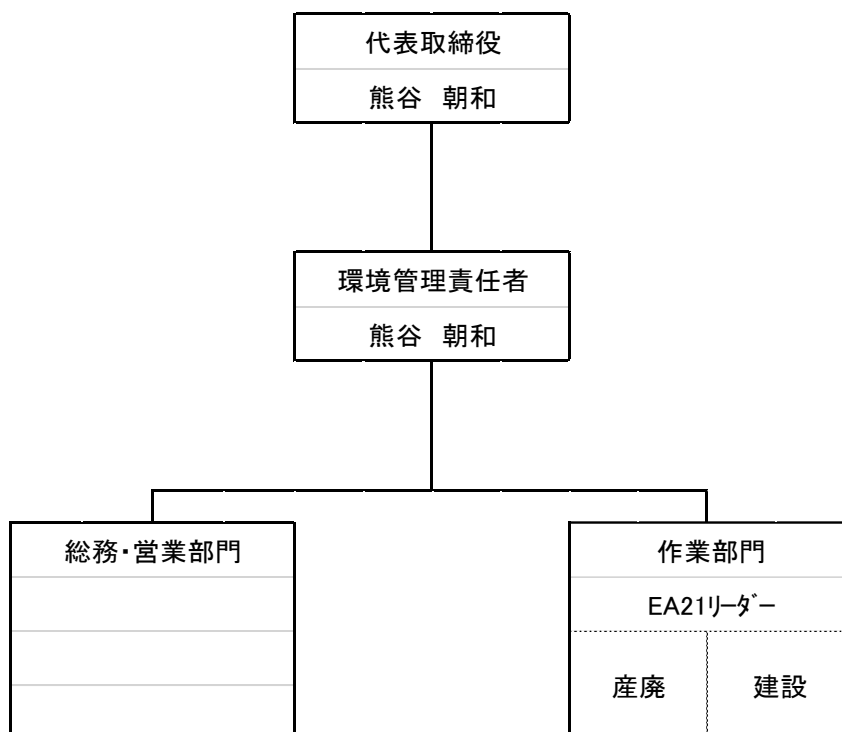
7-3) 使用機械

No.	機種	メーカー	規格	所有台数
使用燃料 : ガソリンと2stオイルの混合				
40	草刈り機	ゼノア	49cc	6台
41	チェーンソー	ハスクバーナー	59cc	2台
42	チェーンソー	ゼノア	39cc	2台
43	送風機	ゼノア	49cc	3台

8) 認証登録の対象範囲(全部署・全活動)

2. 実施体制および役割分担表

EA21 実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限・使命
代表者 (代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組を実施し、又、全体の評価を見直す。
環境管理責任者	全体の把握及び、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を報告する
作業部門	作業部門におけるEA21の遂行を統括する。
総務・営業部門	環境管理責任者に必要な情報を提供するとともに、決定事項を社内に周知し、EA21を着実に実施する。
総務・営業部門	EA21文書及び記録類の作成、維持管理。

3. 環境目標及び中期環境目標と2024年度の実績

環境目標		単位	2022年度	2024年度			2026年度
			基準年度	目標	実績	判定	目標
CO ₂ 排出量の削減		kg・CO ₂	315,508	309,198	325.905	×	302,888
				(△2%)	(+3%)		(△4 %)
	電力使用量の削減	kWh	26,910	26,372	19,907	○	25,834
				(△2%)	(△26%)		(△4 %)
	軽油使用量の削減	ℓ	111,563	109,332	114,760	×	107,100
				(△2%)	(+3%)		(△4 %)
	ガソリン使用量の削減	ℓ	4,915	4,817	7,460	×	4,718
				(△2%)	(+52%)		(△4%)
	都市ガス使用量の削減	m ³	743	728	772	×	713
				(△2%)	(+4%)		(△4 %)
木くずチップ化の推進		トン	554	570	478	×	620
			(2022年度)	(+3%)	(△14%)		(+12%)
	自社木屑チップ化	トン	353	363	249	×	395
			(2022年度)	(+3%)	(△29%)		(+12%)
	他社木屑チップ化	トン	201	207	229	○	225
			(2022年度)	(+3%)	(+14%)		(+12%)
水使用量の削減		m ³	847	830	758	○	813
			(2022年度)	(△1%)	(△12%)		(△4 %)
環境適合車への変更		台/年	1台	1台	3台/年	○	1台/年
(グリーン購入)							
ボランティア活動		実施回数	2回/年	3回/年	3回/年	○	3回/年

※()は基準年度に対する増減率を示します。

※電気の二酸化炭素実排出係数は、中国電力の2021年度の調整後排出係数/0.545kg-CO₂/kWhを用いました。

※PRTR法対象化学物質を含有しない除草剤を使用するなど管理状態にあるので、化学物質使用量の削減に係る目標は掲げません。

※次年度目標(2026年度)は、2022年度実績比4%減とする。(基準年度2017年度より5年を経過したため。)

4. 主要な環境活動計画とその内容（環境保全に向けた具体的な目標）

1) 二酸化炭素の削減

① 電気使用量の削減

- ・室内空調設定温度は、夏 28度±1度、冬は 20度±1度とする。
- ・昼休の照明消灯（減灯）及びパソコンは待機電力にする。
- ・休日、夜間はパソコンの電源OFFにし、休日の出勤は控える。（仕事の場合を除く）
- ・事務所内の空調設備の省エネルギー化を推進する。
- ・ブラインドの利用で室内の断熱、又開口部に網戸の設置を推進する。
- ・太陽光発電システムの効率的な運用方法を実施する。

② 燃料（軽油・ガソリン・都市ガス）使用量の削減

・エコドライブの推進

- 燃費向上につながる運転及び高燃費の車両への入替をする。
- ・大型車両での移動を制限し、燃費の良い車両を使用し移動を実践する。
- ・古い車両を燃費の良い排ガス規制対応の車輛へ切り替える。
- ・給湯器の電源は使用する時以外は電源OFFを実行する。
- ・手洗い場の水栓に温度調整の注意喚起シールを張る。（夏場の給湯器使用を控える）
- ・湯張時は、責任を持ち、湯量の管理を行い、余分な燃料使用を軽減する。

2) 木屑チップ化の推進。

- ・新規搬入業者の獲得に注力する。
- ・伐採木、剪定木及び除草くずを、役所の処分場指定を依頼し納入増を目指す。
- ・チップ化した木くずのたい肥化を積極的に推進する。
- ・木質チップの無料配布会の実施。
- ・市と連携し木くずチップの利用を市民へ促す。

3) 水使用量の削減

- ・節水の注意喚起シールを各洗濯機に張り付ける。
- ・車両洗車には、井戸水の使用を優先し、上水の使用量を削減する。
- ・洗濯すすぎの際は、洗濯機から離れず、水を流しっぱなしにしない。

4) グリーン購入の積極推進

- ・車両購入（入替）の機会毎に配慮する。
（エコマーク文房具・名刺などはグリーン購入配慮済）

5) ボランティア活動他

- ・社会貢献活動を積極的に推進する。（フードバンク開設）

6) ジモティと提携した実店舗運営によるゴミの排出量削減（ジモティスポット光店）

- ・不要品を無料引き取りし販売することによりゴミの排出量を削減する。（リユース）

5. 環境活動計画の結果とその評価、および、次年度の取組内容

1) 二酸化炭素の削減 : 未達成(基準年度比 3.2%増)

無駄なアイドリングしない、急加速の抑制、スピード抑制等、燃費向上の対策は各運転手に浸透しつつある。営業エリアの拡大により市外からの作業依頼の増加があり、作業車両の移動距離も長くなっている。同様に、周南エリアでの打合せ、現場確認等の営業活動も増加している。産廃の県外運搬もあり業績アップにつなげている。

太陽光発電システムを令和6年3月設置完了。購入電力量は基準年度に対し26%減と大幅な減少に成功した。ただ、蓄電池の設定に不備があり購入電力量と売電電力量のバランスが悪く設定の変更により購入電力量の更なる減少が見込める。

ガス使用量においては、作業後の入浴者の増加もあり増加の傾向にある。
又、社内寮が研修生の生活の場となっており、電気・ガスの使用量増になっている。

2) 木くずチップ化の推進 : 未達成(基準年度比 14%減)

チップとしての原料となる木くずの搬入が基準年度から減少した。要因としては工場内での除草伐採作業が増え、木くずの搬入が出来なかったことがあげられる。

今年度より光市と協力し、木くずチップの土壌改良剤やマルチング材としての利用を市民へ推奨していく。

3) 水使用量の削減 : 達成(基準年度比 12%減)

節水に対する注意喚起のシールを引き続き継続して表示した。又、従業員の節水に対する意識が定着している。

車両の洗車を行う際に土場の湧き水を溜め使用することにより上水道の使用量を削減することが出来た。

次年度も引続き使用量減少させるべく、取組への継続を実行させていきたい。

4) グリーン購入の積極推進

文具、事務用品は全てグリーン購入品は継続中である。

今年度は、3台の車両を環境に配慮した車両に入替。今後も、環境に配慮した商品の購入を優先的に実施する。

5) ボランティア活動他 : 達成

各種協会や地域のなどの清掃活動に、車両の貸し出しや人員の積極的な参加を実施している。又、フードバンクを開設し、木曜日/毎週を配布日にしている。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は以下の通りです。

○廃掃法、○フロン排出抑制法、○容器包装リサイクル法、○浄化槽法等
過去3年間、環境関連法規等への違反はありません。

また、関連当局よりの違反指摘、利害関係者からの訴訟等も同様に1件もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し結果

環境方針は、状況を見ながら、状況に合わせて改訂をしていく。

車両系燃料の使用量は、作業エリアの拡大、営業活動の増加による業務増が、要因の一つと考えている。アイドリングストップを徹底するなどの意識改善も少しずつ浸透しているように思う。来年度以降も、周南エリアからの業務要請の増加が確実に見込まれている。環境への取組と同時に、業務の更なる拡大に注力をしていきたい。

「クリーン＆グリーン」のスローガンを掲げる廃棄物業者としては、環境に対する取組は必須。無駄を少なくするか、効率を上げるは、従業員全員の意識改革が大事と思う。

何をするか、何が出来るを考えながら行動し、目標の達成を目指し活動につなげてほしい。各部門で何が出来るかを考え、事業の拡大を図りつつ、全従業員全員で考えながら活動を推進させていきたい。

開設したフードバンク光ステーションも広く認知されてきている。我々の住み暮らす地域と共により良い社会を作るため、より多くの共感頂ける人、企業をつなげ、ともに行動することで、思いを形に変えていきたい。



2024年11月末より株式会社ジモティと提携し、ジモティスポット光店を開設。不要品を無料で引き取り店頭に並べ、格安で販売することにより、本来ならばそのままゴミとして処分される物を他の必要とされる方へお渡しすることでゴミの排出量を削減する活動を行っている。



熊谷興業
KUMAGAI KOGYO



ジモティ

ジモティースポット 光店

オトクなリユース品が毎日店頭に並びます！

0円の商品も多数で用意、オトクに楽しくリユースに貢献できます



捨てるにはもったいないモノ無料で引き取ります！

次の人が使える（リユースできる）状態のモノに限ります



いろいろ！

家電、趣味・スポーツ用品、
子供用品など持ち込み OK！



5分で完了！

予約不要！持ち込んで
渡すだけ！



無料引取！

何点でも持ち込み OK！
全て無料で引き取り！